

下野市立国分寺中学校

1 学校課題

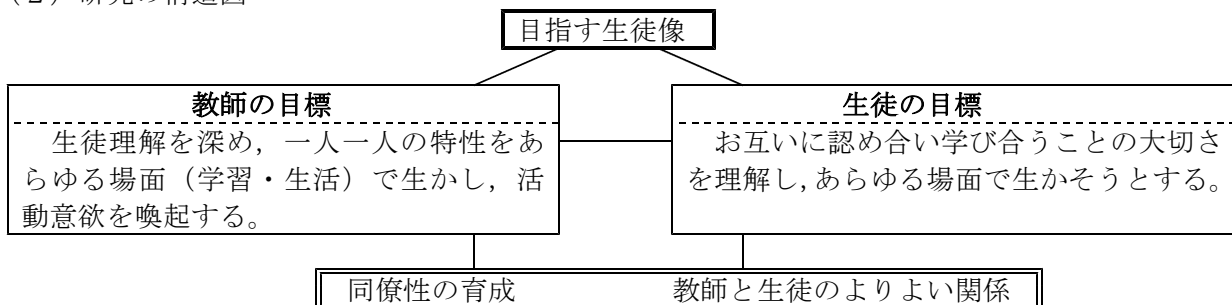
研究主題
「思考力・判断力・表現力を育成する言語活動の充実」
～生徒の学び合いを生かして～

2 研究計画

(1) 研究主題設定の理由

本校では、平成23年度、下野市より「新学習指導要領推進事業」実践モデル校に指定されたことを受け、「言語活動の充実」に取り組んできた。さらに、24年度は、研究の定着を目指し、同じ研究主題で実践を続けた。2年間の研究で、生徒や我々教師の意識も変わり、学びの共同体の授業スタイルを取り入れた授業の流れが定着しつつあり、生徒のアンケート結果にも表れた。そこで、今年度は、言語活動の充実を学習だけにとどめず、学校生活のあらゆる場面で話合いや学び合い活動を設定し、生徒一人一人の良さを伸ばしていきたいと考えている。そうすることによって、アンケート結果で評価の低かった「自分の意見を積極的に発表する。」という項目の改善点につなげたい。さらに、2年間の研究で成果を上げつつある「生徒の思考に足る学習課題の工夫・設定」は今後も意識して研究していきたい。

(2) 研究の構造図



(3) 研究実践

月	実施内容	参加者
4	・研究推進委員会発足 平成25年度学校課題の検討 ・学習集会（学びの作法，コの字型機の配置確認）	研究推進委員 研究主任
5	・学校課題の提案・研究計画書の再確認 ・各学年での授業研究（第1回校内授業研究会）5月22日(水) 3年…理科 2年…国語 1年…数学	研究主任他 2・3年職員
6	・要請訪問（第2回校内授業研究会）6月5日(水) 3年…国語 2年…道徳 ・第1回アンケート実施，集計	全職員 調査研究部
7	・共同訪問 7月8日(月) 3年…道徳 3年…体育 2年…理科 2年…英語 1年…学活 1年…数学	全職員
8	・茨城学びの会夏期研修会参加 8月18日(日) 講師 佐藤 学先生	2名参加
10	・第3回校内授業研究会 10月17日(水) 指導講師 稲葉義治先生（学びの共同体研究会） 3年…社会 2年…英語 1年…数学（焦点授業）	全職員
11	・要請訪問（第4回授業研究会研修会）11月28日(水) 1年…英語	全職員
12	・第5回授業研究会 12月4日(水)	全職員

	3年…数学 2年…体育 1年…社会 2年…国語（焦点授業） 指導講師 村瀬公胤先生（麻布教育研究所） ・第2回アンケート実施，集計	市内教職員 調査研究部
1	・校内研修 1年間のまとめと次年度の学校課題検討 （アンケート結果より）	全職員
3	・次年度の学校課題決定	推進委員会

3 研究の実際と成果

(1) 教科部会，学年部会を中心とした授業づくり

〈共通課題と発展課題を取り入れた授業展開〉（一部抜粋）

教科	学年	学習内容	共通課題	発展課題
国語	2	レモン哀歌	自分が読み取った主題をまとめる	レモン哀歌の処方箋を書く
数学	3	円	円周角の定理を用いて，いろいろな角度を求める	円周角の定理を利用し，新たな図形の性質に気付く
英語	1	Can you use a computer ?	Can you ～?で相手のできるとやできないことを尋ねる	Can you ～?を使ってイデオロギ友達のできることを can を使った文で表す

(2) 授業研究会の実施



・授業者は教材研究を十分にを行い，話合いのレベルアップのため，ダイアログ的な話し言葉も鍛え授業に臨むことができた。授業当日，生徒の変容が授業内で分かり成果がはっきりと現れていた。また，その後の授業研究会でも多くのアドバイスをいただき，今後の研究の方向性も明らかとなった。

【コの字型の授業風景】 【小グループ活動風景】

(3) 茨城学びの会夏期研修会参加

・茨城県で行われている小学校，中学校での授業をビデオで見ながら研究協議を行い，佐藤学先生からの講話を聞く。授業をしながら迷っていたことへの答えが見つかるなど，帰校して校内研修に生かした。

(4) 学習集会の実施

・授業開始前のオリエンテーションでは，1年生を対象に，体育館でクラスごとにコの字型に並び，「学びの共同体」の授業スタイルの意義や学びの作法について説明した。それにより，新1年生にも2・3年生の行っている学びが理解された。

4 本年度の成果と課題

(1) 研究の成果

・6月と12月に行った「言語活動に関する調査」から考察すると，生徒に学び合い学習が定着し，学び合いを楽しむ生徒が増えつつあるという手応えを感じる。

・本年度は，あらゆる場面で学び合うことに重点を置いてきた。生徒会活動や各学校行事に於いても，互いに学び合い，より追究する姿勢があちこちで見られたり，生徒会活動の活発化が図られたり，各行事の成功へと繋がった。

(2) 今後の課題

・アンケート結果から，学年によっては積極的な話合い活動が難しい傾向の学年があった。「積極的に自分の意見を発表する」や「自分の考えを分かりやすくまとめることができる」の項目では，良く当てはまる・ややあてはまる，の合計が他の項目と比べると低かった。そこで，年度当初の人間関係作りのためのグループエンカウンターを積極的に導入したり，発言するための自分の考えをしっかりとつための時間の確保をしたりと，我々教員が意図的に設定していきたい。

・課題設定の工夫については，研究を行えば行うほど生徒の思考を刺激する課題を見つけることができるためさらに研究を深め，生徒の活動を活発にしていきたい。